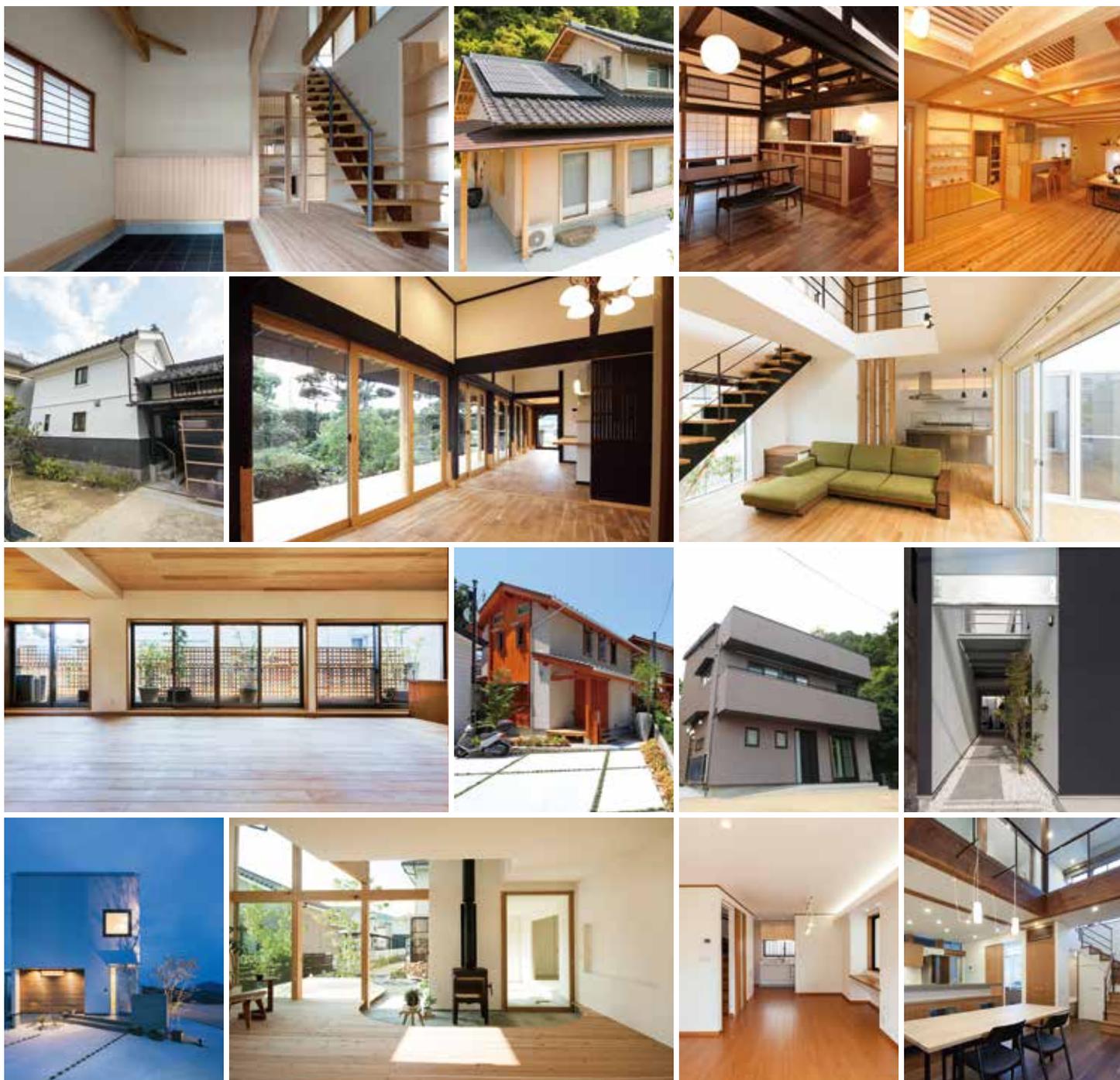


ひろしまの
住まい事例集
Vol.5

広島県の自然と地域にあった住まい



ごあいさつ

Greeting

自然を大切にした持続的な暮らし方が問われています。

木は大気中の二酸化炭素を固着し、さらには再生が可能な資源の一つであり、

木造住宅は木の最大の消費先といえます。

また、あらゆる分野において省エネルギー化の推進が求められており、

住宅についても国では、平成32年までに、

全ての新築住宅について省エネルギー基準への適合を義務化する方針を打ち出しております。

こうしたことを契機として、平成24年度、広島県内の木材生産、建材流通、設計・施工に携わる

住宅生産者が連携してスキルアップや地域の木材の利用拡大等を推し進めることを目的として、

「広島県木造住宅生産体制強化推進協議会」を設立しました。

当会は、地域で産出される木材を使い、建つ場所の気候風土や敷地の状況に配慮しながら

省エネルギー基準に対応し、さらには長期にわたって利用できる耐久性などを備えた

優良な木造住宅の普及促進に取り組んでまいりたいと考えております。

この事例集は、昨年度に引き続き、優良な木造住宅の普及促進の一環として作成したものであり、

より多くの人の目に触れ、

これから住宅の新築やリフォームをされる方の参考となることを願っております。

最後に、この事例集作成に当って御協力いただいた多くの建築主、設計者、

並びに施工者の皆様に対して厚くお礼申し上げます。

平成29年2月1日

広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

会長 元廣 清志

目次

Contents

リフォーム・リノベーション

光と風を導く階段を中心に～多世代が共に暮らすいえ～【高野俊吾建築設計事務所】…………… P5-6

昭和の30代から平成の30代へ受け継ぐ住まい

～第2のリビングで生まれ変わる～【㈱ハイランドハウス】…………… P7-8

向原の蔵【橋本建設㈱】…………… P9-10

県産材を利用し、長期利用への対応の面でも優れた事例

焼山高台の古民家【エンロハスデザイン一級建築士事務所】…………… P11-12

栗原町の家 三世代で支えあう暮らし【一級建築士事務所 アトリエ平田】…………… P13-14

己斐の家【カオル建設㈱】…………… P15-16

FLOW―回遊する木の家―【㈱竹野内建設】…………… P17-18

省エネ基準への対応

次世代への継承 古民家再生【㈱道建設】…………… P19-20

スタイリッシュを追求した高性能な家【㈱池芳工務店】…………… P21-22

石州瓦の家【しおた工務店】…………… P23-24

陽だまりLabo西原【㈱大喜】…………… P25-26

地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応した事例

まき日の家【kitokito】…………… P27-28

トンネルの家【KALEIDO DESIGN】…………… P29-30

向島シーサイドタウンの白い家【㈱加度商】…………… P31-32

杜のアレイ（横丁―小路）【㈱現代計画研究所】…………… P33-34

ひろしまの住まい事例集 ～自然と地域に合った住まい～ の作成について

About creation of the example collection of Hiroshima houses.

①目的

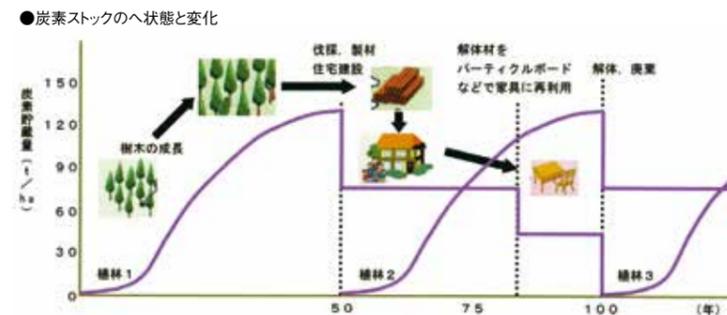
住宅は本来、建つ場所(地域)の気候風土や敷地の状況などに応じて個々に計画され、その地域を熟知した工務店などにより建設されてきました。昨今は大半の部分が規格化された住宅が増えつつありますが、こうした従来からの「地域型住宅」とも言うべき住宅の建て方も再評価すべきと考えました。そこで、県内の「地域型住宅」の優れた事例をわかりやすく取りまとめて広く紹介することで、これから住宅の新築やリフォームをされる方の参考としていただき、より良質な住まいづくりの一助となることを目的とします。

②事例選定のコンセプト

今後の住まいづくりに求められる視点として次の4つのコンセプトを設定し、このコンセプトに沿って優れた創意工夫のある事例を「ひろしまの住まい事例集」として取りまとめました。

①地域材(県産材)利用

地域で産出される木材を積極的に利用することは、木の生産・消費のサイクルを生むことにつながり、二酸化炭素の吸収源である森林の適切な保全にもつながります。

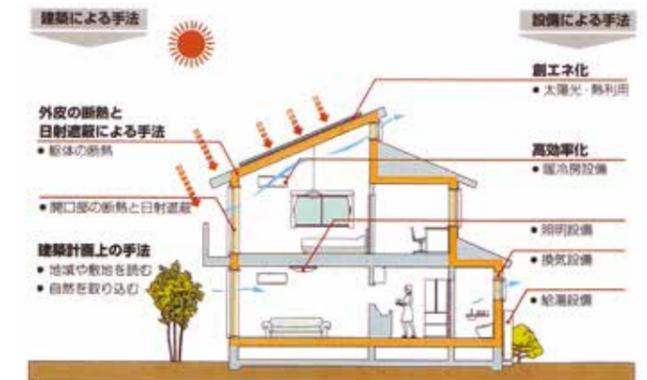


②長期利用への対応

住宅を長く大切に使い続けることは、住宅生産に伴う消費エネルギーを直接減らすことにつながります。長期にわたって利用するための耐久性や、家族構成の変遷に合わせた間取りの可変性などが今後の住まいづくりにおいては求められます。

③省エネルギー基準への対応

地球環境問題への対応の一つとして、住宅での消費エネルギーを減らすことが重要です。今後の住まいづくりにおいては、住宅の断熱性を高めるなどの従来の取組みに加え、地域の気候や敷地に応じた自然の光・風を取り込む工夫も必要です。



④地域の気候風土や敷地の状況への対応

住宅には、建つ場所(地域)の気候風土や敷地の状況などに応じた多様な形があるべきです。こうした個別の事情を考慮し、設計や工事の各段階で創意工夫することが求められます。

⑤リフォーム・リノベーション

住宅をライフスタイル等にに合わせて改修することや空き家の活用など、既存住宅(既存建物)をより有効に活用することで快適な住まいづくりが実現されます。

③広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

住宅生産に係わる次の関係団体により構成される協議会です。

【構成団体】

(公社)広島県建築士会、(一社)広島県建築士事務所協会、(一社)広島県建築センター協会、(一社)広島県工務店協会、(一社)広島県木材組合連合会、(一社)広島県住宅産業協会、(一社)全国住宅産業協会中国支部、(一社)日本ツーバイフォー建築協会広島県支部、(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部、広島県森林組合連合会、広島県家具工業連合会、(株)スガノ、(株)小野産業

【オブザーバー参加】

広島県土木建築局住宅課、広島県農林水産局林業課

【協議会事務局】

(公社)広島県建築士会 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F Tel:082-244-6830

光と風を導く階段を中心に 多世代が共に暮らすいえ

【建築主】 ○様
 【設計者】 高野俊吾建築設計事務所 高野 俊吾 TEL 090-9377-6082
 【施工者】 永本建設株式会社 永本 清三 TEL 0829-31-6655



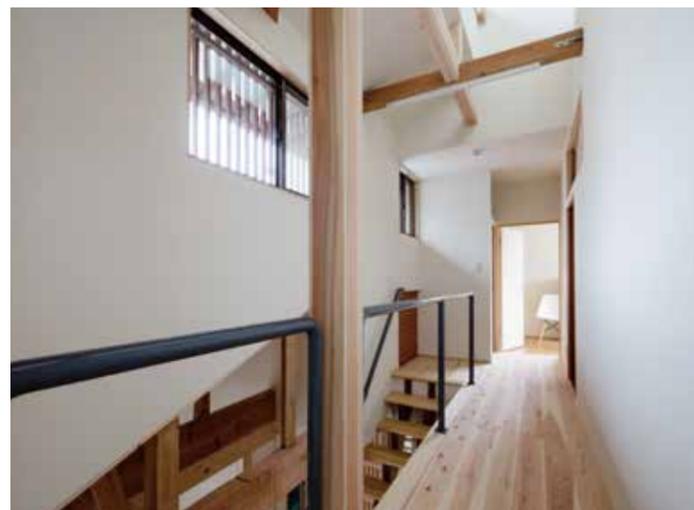
玄関ホールと吹抜け階段

玄関の天井を撤去して吹抜の階段ホールとし、それぞれが独立していた各室を階段を中心に繋ぐ。



1.5倍の広さになったリビング・ダイニング

既存梁を利用した天井、浮造りの無垢フローリング、珪藻土の壁で構成。造作棚のガラス越しに階段が見える。



ハイサイドライトと吹抜け階段

屋根の一部にハイサイドライトを新設。安定した光が降り注ぎ、煙突効果により上昇する夏場の熱気を排出。

設計・施工者の創意工夫点

34年前に建てられた木造住宅。次世代に引き継がれたいま、“いま”と“これから”の暮らしに合わせてリノベーションを行った。
 床・壁・サッシの断熱化や耐震壁の追加など技術的な性能の向上と共に、階段上部の屋根を抜きハイサイドライトを導入。自然採光を可能とし、通風を促す階段をいえの中心として回遊動線を設け、各室を繋いだ。回遊動線廻りのガラス壁や格子戸を介して互いを窺い知れる計画とすることで、多世代が共に暮らすいえとして、一つ屋根の下に暮らすことを常に意識できるよう配慮した。

事例の特徴

- 加工材（造作材）、棚板類、床材、壁・天井の羽目板、補強柱
- 補助事業：省エネ住宅ポイント
- 築 34 年の一般的な木造住宅のリノベーション。階段上部の屋根を抜きハイサイドライトを設けることで、光と風と人が循環するいえの中心を生み出している。



スタディスペース

キッチンに面したリビング・ダイニング角のスタディスペース。出窓を利用した机と棚を造作。



庭に面したリビングと和室

リフォーム前の和室と広縁を整理し、リビングと和室が直接庭と接することで内外のつながりを強めた。



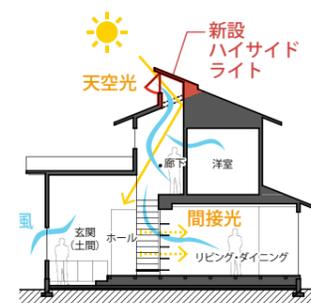
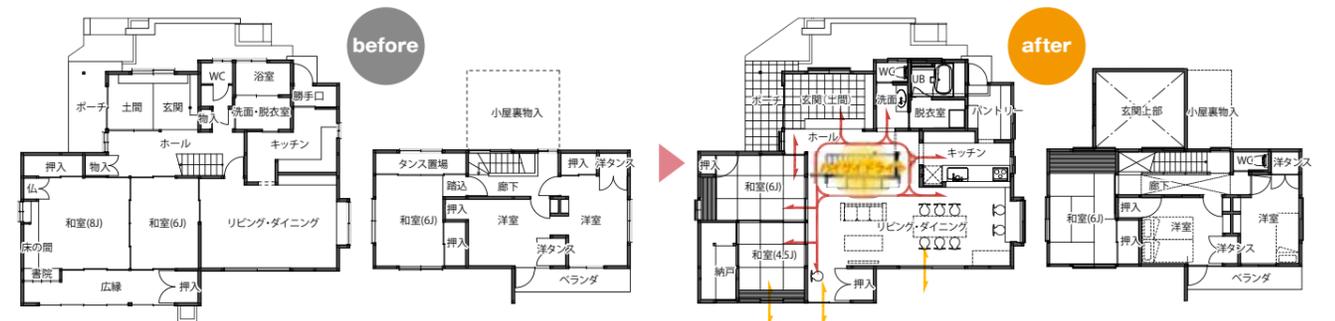
格子扉

必要に応じて格子の引き戸を開閉することで空気の流れを制御し、温熱環境をコントロール。



和室

和室と家族が集まるリビングは仕切戸を開けることによって一体的に使用することができる。



外観

新たに追加されたハイサイドライトのある外観。既存外観と調和した色調・素材を選択。建物頂部のハイサイドライトから内部の光が街ににじみ出る。

昭和の30代から平成の30代へ受け継ぐ住まい ～第2のリビングで生まれ変わる～

【建築主】 ○様
 【設計者】 株式会社ハイランドハウス一級建築士事務所 高原 慎司 TEL 082-874-6747
 【施工者】 株式会社ハイランドハウス 高原 慎司 TEL 082-874-6747
 【企画立案者】 NPO 法人広島耐震マイスター倶楽部正会員 株式会社ハイランドハウス 高原 慎司 TEL 082-874-6747



LDK

キッチンの間仕切り壁を撤去し、開放的に。間接照明で雰囲気を出した。ダイニングにフリーデスクを設置することで、PCスペースや子どもの勉強スペースとして、家族の誰もが利用できる場所とした。また、ウッドデッキを第2のリビングとし、LDと繋げることで自然と家族の集まる空間になった。



第2のリビング ーウッドデッキー

雨の日でも、子どもと一緒に屋外で遊べるスペース。屋根があり広さが確保されているので、活用の幅が広がる。



建物外観

屋外も全面リフォームを実施し、サッシも全て交換。和風から洋風へと変化した。

設計・施工者の創意工夫点

昭和 56 年旧耐震基準の物件を再販・流通促進させる事を目的とし、当物件をただ全面改装リフォームするだけでなく、性能向上・耐震・省エネリフォームを計画。古いものを利用促進し、現代の 30 代子育て世帯の生活を想定した間取りを計画した。内装は新築レベルのリフォームを施した。当物件の地域では、旧耐震住宅が多いことはもちろん、人口減少、高齢化の進行、空き家の増加が深刻視されている。その背景を基に、課題として、住宅の耐震化率の向上、既存住宅団地の活性化が挙げられている。そこで既存住宅団地内の住宅の「性能向上リフォーム」(耐震性向上等)と「住み替え支援」を考慮し、再販モデル住宅を計画・実行した。



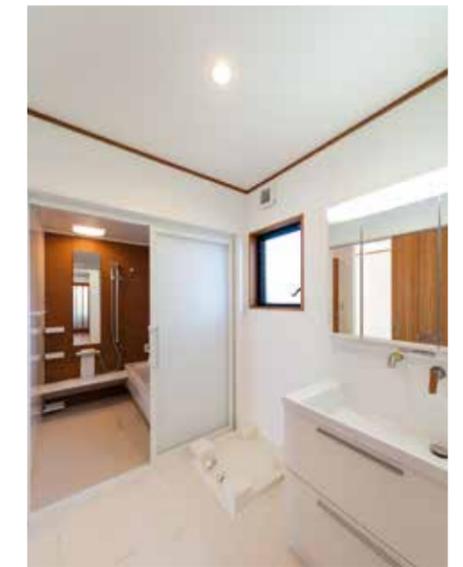
キッチン

主婦の家事動線を考慮し、白を基調とすることで明るく仕上げた。



事例の特徴

- 長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金対応
- 住宅金融支援機構 フラット 35 リノベーション認定物件 (西日本戸建初認定物件)

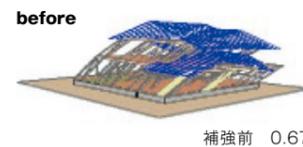


洗面脱衣所・浴室

耐震を考慮し、浴室拡張を行い、住宅設備を一新した。



地震被害想定3次元CG



補強前 0.67



補強後 1.55



解体すると筋交が切れていたため、筋交を交換

柱頭柱脚金物、筋交金物取付

性能向上



基礎クラック補強

省エネ床下断熱

防蟻処理



玄関

収納力の高い下駄箱を設置し、家族全員の靴を収納可能にした。

リノベーション

安芸高田市

向原の蔵

【建築主】 N様
 【設計者】 橋本建設株式会社 松本 勇生 TEL 082-878-1110
 【施工者】 橋本建設株式会社 泉 直仁 TEL 082-878-1110



外観
 外壁と瓦は何年か前にやり替えたとのことでしたので、屋根から上を一旦取り外し、水漏れしている箇所や傷んでいる部分をやり替え、梁や瓦など使える材料はまた元に戻しました。開口部は南側の1、2階にそれぞれに1か所ずつだったため、増設した部分は漆喰の補修を行いました。(写真右下が南側外観)



サッシ
 防犯性、断熱性、デザイン性を考慮して防犯合わせガラス、インナーサッシの組子付・ウッドタイプを採用。



蔵戸
 蔵戸は一部補修、鍵を付けるなどしてそのまま利用。



設計・施工者の創意工夫点

祖父が建てた築86年の蔵を帰省時に過ごす空間へ変更。蔵の用途から住まいへ変更するため、2×3間の総2階の空間に、水廻りと寝室を計画。ハシゴのような階段も位置を変えて緩やかな勾配にしました。内装だけをやり替えるのではなく、これからも長く使用していけるようにと、床下・屋根は構造からやり替え、断熱材を施工。開口部は木戸だけだったため、防犯と断熱効果を考慮して防犯ガラスのサッシを施工し、更にインナーサッシも設置しました。

事例の特徴

- 蔵から住まいへの用途変更
- 傷みの激しい部分はやり替え、まだ使用できる部分は既存のまま
- 床下、屋根に断熱材を入れ、開口部にはサッシ・インナーサッシを設置



リビング
 梁、牛梁などは再利用し、傷みの激しかった箇所は新しい材料にやり替えました。元々低い位置にあった水平梁を丸太梁に替えることで梁下が高くなり、生活しやすい空間に変更しました。北側にも開口部を設けたことで、南北に風が通るようになりました。北側の屋根に新たに設けたトップライトで、階段を明るくしています。



リビング
 障子の奥は書棚となり、間接照明で内外部を照らしている。奥のテレビ台も造作。



収納
 少しでも収納を増やすため造り付けのベンチの下や階段の蹴込み部分にも収納を取り入れた。



キッチン
 木製のオリジナルキッチン。スペースを活用するため、電子レンジを吊り棚に置き、カウンターを広く使えるようにした。

カウンター
 カウンターを可動式にし、上段はイスに座って使用する机として、下段は座卓又は花器などを置くスペースとして使用する。



リフォーム

呉市

焼山高台の古民家

【建築主】 非公表

【設計者】 エンロハスデザイン一級建築士事務所 栄花 彰子 TEL 090-1685-1261

【施工者】 高橋工務店株式会社 高橋 正人 TEL 0823-34-5585



after



before

ダイニング

玄関を入るとすぐLDKに広がる連続木製建具は、大きく開放できるような柱の外側に設置。格子戸は再利用品。

リビング

リビングは3.5mの天井高で開放感のある大空間。ロフトへ上がる階段とロフトからの小窓がアクセントに。



before



after



after



before

土間

土間からは茅が見えるノスタルジー空間。屋根裏を開放しておくことで茅の痛みも軽減。

設計・施工者の創意工夫点

明治時代からの古民家を祖父の終の棲家として、また孫の代まで繋げる家に改修。冬の寒さと老朽化が一番の心配だったが、断熱対策・構造補強対策をしっかりと計画し実現した。建物全体を外側から断熱材気密材で包囲し、内部の趣ある意匠を活かしつつ温熱環境を大きく改善。増改築部分を減築し本来の架構を再生、耐力壁等で適切に補強して安定感ある構造体に。また、日々楽しく過ごせるよう、家全体を暗くしていた内縁を外縁にしてLDKを明るく広く繋げつつ、天井高に高低をつけて奥行きある空間を演出した。

事例の特徴

- 今の生活に合うよう、不要部分を減築し、シンプルな間取と構成に。
- 焼杉、しっくい、無垢材、オイル系塗料、など自然素材にこだわった仕上。
- 既存の架構、建具、梁、などを活かし、古民家の雰囲気を残さない計画。



after



before

濡れ縁

LDKと東庭を挟む大きな濡れ縁。近所の方との話や、本を読んだりするのに最高のひだまり空間。



after



before

外観

外壁は焼杉と白しっくい。再利用した手水鉢を玄関前に配置。茅を銅板で囲う趣のある屋根はそのまま。



after



before



after

和室

南の日射が入り田園風景が見えるようになった。引戸を開ければロフト階段の収納が和室からも使える。



ロフト

大きな小屋裏を活かして作ったロフト。温熱環境も素晴らしく、お孫さんが喜んで遊び泊まれる場所に。



before

夫婦室

月に1回遠方から泊まりにくる娘さま夫婦の部屋。梁などが見えるよう架構を活かした内装。

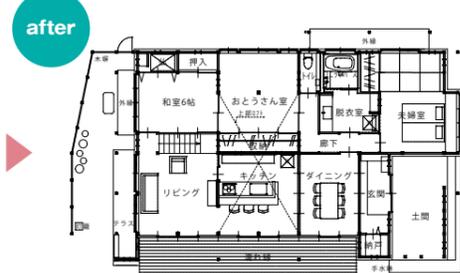


キッチン

LDKから大きく東庭が望める。調理をしながらお客さまや庭の様子が伺える明るいキッチン。



before



after

栗原町の家

三世代で支え合う暮らし

リフォーム・新築

尾道市

【建築主】 非公表

【設計者】 一級建築士事務所 アトリエ平田 平田 欽也 TEL 082-922-6700

【施工者】 山陽建設株式会社 岡田 誠二 TEL 0848-62-2115



after

南側全景

左側が子世帯（新築）、右が親世帯（リフォーム）。里道に面して子世帯の玄関が設けられている。



before

改修前

里道側からの全景。



東側全景

左側が親世帯（リフォーム）、右が子世帯（新築）。外観は親世帯と周辺景観との調和を図った。



親世帯1階

台所より食堂・居間が見わたせ、階段の左側に浴室やトイレがあるため、2階からでも家族の状況を知ることができる。



親世帯外観

交通量が増加したので、1階はオーパスライダ、2階は縦格子でプライバシーを確保した。



親世帯2階 主寝室

洋室へ改修し、ベッド廻りに余裕を持たせた。窓の外にウッドデッキが続く。

設計・施工者の創意工夫点

隣に子世帯の家を新築することになった。これに合わせ親世帯もリフォームを行い、3世代で支え合う暮らしが描かれた。1階は2世帯が程よい距離感を保てるよう、中庭を介してゆるやかに繋がる。中庭には子世帯の縁側を設け、親世帯の庭へと続いている。お互いが縁側から気軽に声を掛けられるような関係になった。2階は内部で直接行き来できるようにして生活の変化へ備えた。いつも家族を感じられる安心な住まいが完成した。

事例の特徴

- 直接手に触れる場所に木材を使用し、木の温もりを感じられるようオイル仕上げとした。
- 県産材部位：柱・間柱・他
- 県産材使用量：12.66㎡
- 親世帯は耐震補強・断熱性能の向上、子世帯は外断熱工法・蓄熱型床冷暖房など、省エネシステムの導入により快適で安全な生活を目指した。



子世帯2階

中心にある吹抜は光や風を届けるだけでなく、家中どこでも家族の気配を感じさせてくれる。



子世帯1階

食堂上部の吹抜を中心に、それぞれの空間が立体的に繋がっている。

子世帯外観

2階に大きな窓を設け吹抜から光を取り入れる。上部の三角屋根はロフト部分。



子世帯縁側

右側が親世帯。お互い縁側ごしに気軽に声を掛けられる。

新築

広島市

己斐の家

【建築主】 T U様
 【設計者】 カオル建設㈱ 1級建築士事務所 衣川 充治 TEL 082-288-7708
 【施工者】 カオル建設㈱ 佐々木 良 TEL 082-288-7708
 【企画立案者】 カオル建設㈱ 1級建築士事務所 衣川 充治 TEL 090-4895-3785



オフグリッドを見据えた太陽光パネル



ソーラーウォーマー

外観

裏に山、その下に小川、前にJRの線路、太田川と、広島市内で最も湿度の高い地域と言える土地柄に建設されています。



2階セカンドリビング ロフト階段横にロフトエアコンからの吹き出し口

己斐の家は、JR山陽本線が敷地の南側に走っています。良質な睡眠をとるために、南側の窓を2重構造として、外壁はパワーボードを採用し、窓を閉めると列車の騒音は夜でも聞こえなくなります。太陽光発電6.5KWを設置して、換気を暖房の補助に使えるソーラーウォーマーを設置し、冬場は、深基礎に設置しているエアコンとプラスした暖房を行います。又、夏場は床下の結露カビ対策を兼ねます。広島では施工例の少ない外壁のグラスウールによる充填断熱105mm+付加断熱100mmを採用しました。将来電気料金が高額になり、蓄電バッテリーが安価になることを見据えて、太陽光発電パネルは前述の大きさを確保しました。これは断熱・省エネルギー性を踏まえ、将来のオフグリッドを視野に入れています。下記の高い断熱性能はそのためのものでもあり、室内の温度差をほとんどなくするためでもあります。健康で長生きするには、室内での活動量を増やすこと、食事、睡眠の良質化と共に、脳梗塞・心筋梗塞を防ぐ為、室内の温度差を無くすることが重要だと考えて、それを具現化したのがこの己斐の家です。

断熱性能

外皮平均熱貫流率 0.28w/m²k
 冷房期の外皮平均日射取得量 2.2
 外皮面積の合計 387.64m²

単位温度差あたり外皮熱損失量 108.2w/k
 単位日射強度あたりの冷房期の日射取得量m² 8.37
 単位日射強度あたりの暖房期の日射取得量m² 8.73

設計・施工者の創意工夫点

冬に室内が寒い暮らしは嫌だとのお客様の要望に健康的な暮らしを付加しました。冬の寒さを徹底的にカット 湿度コントロール 良質な睡眠 室内での活動量アップで健康寿命がのびるように工夫しました。

事例の特徴

- 長期優良住宅における県産材・地域材の利用
- 県産材使用部位：柱・梁・桁・土台 (ハイブリッド+檜)
- 使用量：17.96m³ 使用木材の80%



ルームエアコンによる床下エアコン暖房システム 夏にも床下の結露対策として使用します。



ルームエアコンによるロフトダクト式冷暖房システム 夏場にエアコンの除湿の稼働率を上げるためにロフトに設置をしています。



付加断熱高性能GW100mm
 付加断熱の下地材は杉材



屋根CF235mm

壁：袋入り高性能グラスウール105mm+付加断熱高性能裸のグラスウール100mm屋根断熱CF235mmを施工した空間は温度差をほとんど感じさせません。



壁充填断熱 袋入り高性能GW105mm



県産材の納入状況

リフォーム

安芸郡

FLOW — 回遊する木の家 —

【建築主】 H様
 【設計者】 株式会社竹野内建設 竹野内 政信 TEL 082-822-7711
 【施工者】 株式会社竹野内建設 竹野内 政信 TEL 082-822-7711
 【企画立案者】 株式会社竹野内建設 竹野内 政信 TEL 082-822-7711



after

室内

床は奥様の故郷・佐賀県産ヒノキ、天井は広島県産のスギ、壁は珪藻土、開口部は複層ガラス仕様。



before

初の現場訪問時、すでに解体されスケルトン状態だった。



after



before

外観

手摺にスギの腰板を取り付け安全性を確保した。
 [before]
 1階は貸店舗、2階は賃貸住宅としていた。



バルコニーガーデン

室内から素足で外に出るとブルーベリーの実っていた。

設計・施工者の創意工夫点

南側にLDKを配置し、バルコニーガーデンの植栽を楽しむおらかな集いの場とする。採光と通風に配慮し、行き止まりの無い回遊性を持たせたバリアフリーの住まいは、暮らしやすさのびのびとした広がりがある。木の家に住みたいという若い夫婦のための県産材を使用した木質感豊かな内装はこの上なく心地よい。故郷の木をふんだんに使うこと、それは住まいを記憶するものになると信じる。

事例の特徴

- 県産・地域材使用量：3.01㎡
- 木材使用量：3.94㎡
- 主な使用部位：造作材、床・天井、外壁の一部



LDK 東からの眺め

造作収納部で回遊性を持った大らかな空間。



LDK 西からの眺め

木質化された室内はまるで小さな森のようだ。

キッチン・ダイニングエリア

清々しい風景が目に飛び込んでくるキッチン。



トレーニング・ルーム

多様な活用に備えるスペース。今のところはトレーニング用。



玄関

フラットに近づけたホール。



洗面脱衣室



浴室

高断熱浴槽を設置した浴室にも緑の眺めがある。



和室

吊押し入れを設置し、狭さを感じさせない4畳半。

before



after



工事中画像

床・天井・壁に断熱工事。

リフォーム

広島市

次世代への継承 古民家再生

【建築主】 非公表
 【設計者】 有限会社道建設 道本 聡 TEL 082-232-6483
 【施工者】 有限会社道建設 國岡 拓也 TEL 082-232-6483
 【企画立案者】 有限会社道建設 大賀 渡 TEL 082-232-6483



after



before

ダイニングキッチン
 吹抜け空間を設け、既存の柱・梁・鴨居・欄間などを生かしている。



after



before

外観
 納屋が接合されていた部分の屋根を新たに設置し、既存の風合いを損なわないような形状とした。



ダイニングキッチン
 押入れの襖紙は施主様の好みの色合いで、ダイニング空間に取り込んでいる。



リビング
 もともと仏間のあった和室は天井をそのまま活かし、リビングとして再生した。

設計・施工者の創意工夫点

漆喰仕上げの吹き抜け空間を設けることで、空間の広がりや明るさを感じられる計画とした。床のレベル差を修正したうえで、古民家ならではの柱や梁をそのまま生かし、大工による新しい造作とのバランスに配慮した。また、奥様が周囲を確認できる環境で家事を行えるように間取りを計画し、動線もなるべく簡素化している。

事例の特徴

●省エネ住宅ポイントを利用



キッチン

キッチンは、お子さまの様子がみられるように。また、吹抜け空間の広がりを感じられるように対面型とした。



キッチン造作

カッボードを造作し、機能性とデザイン性にも配慮した。



玄関

梁や天井、舞良戸など既存のまま生かし、下駄箱・沓脱石も新たに設置した。



トイレ

1坪のトイレ天井部分には、ダイニングで使用されていた天井材を転用している。



洗面室

キッチンからの動線を直線にすることで、効率よく家事を行えるように計画した。

新築

東広島市

スタイリッシュを追求した高性能な家

【建築主】 W様
 【設計者】 株式会社ダブルネットワーク IKEHOUSE 株式会社池芳工務店 TEL 082-845-5858
 【施工者】 IKEHOUSE 株式会社池芳工務店 TEL 082-845-5858
 【企画立案者】 IKEHOUSE 株式会社池芳工務店 TEL 082-845-5858



外観
 【高性能な家でスタイリッシュな家】にということをテーマに計画しました。外部から見えにくい所に大きな窓を設けて、常に明るい家にした省エネの家。



アプローチ①
 浮遊感を演出する為に階段の立ち上がりを黒で塗装。フレームの黒との相性も抜群。また煉瓦を積んでつくったゲートもよいアクセントに！



アプローチ②
 玄関前のポーチ屋根を斜めにする事で、軒の深さを変化。自転車やバイクを濡れないように工夫。またしっくり壁と木がよい表情を演出してくれる。

設計・施工者の創意工夫点

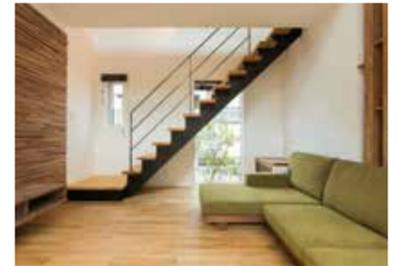
当初からUA値0.46を目指した家づくり。サッシをトリプルガラスにすることで大開口を設けても性能を下げないようにしました。中庭のあるコの字型の間取りで光を存分に注ぎ込ませながらも冬は1階の床置きエアコン、夏は吹き抜けにあるエアコン1台で家中快適に過ごせます。内装も憧れの家具を揃え、スタイリッシュな家となりました。

事例の特徴

- 省エネ等級4
- UA値：0.43W/mk
- C値（気密）：0.26
- 太陽光6.00kw
- 樹脂枠トリプルガラス
- 第1種換気システム



リビング①
 樹脂トリプルガラスのサッシを採用することで大開口を設けても断熱性の高い家。もちろん吹き抜けがあることで1階と2階の温度差を少なくすることができる。夏の日差しをカットし、冬の日差しを取り込む工夫をして1年中快適空間。



リビング②
 階段下に大きなFIX窓を設け、南北に開かれた空間を演出。窓の向こうには植物を植え、日々の生活の中に“ゆとり”を感じることができるように工夫した。



ダイニングキッチン
 大好きな家具、大好きな照明に囲まれた生活が理想。キッチン後部の棚は薄い鉄板にすることでスタイリッシュを際立たせた。



モダン和室
 収納を吊り押し入ることで“抜け感”を演出。収納の扉はシナ合板、床板はケヤキの一枚柄にして一体感を出している。



渡り廊下
 吹き抜けを渡る“渡り廊下”。腰壁をアイアン手すりすることで光を奥まで注ぎ込ませる工夫とエアコンの効率の無駄をなくす工夫をしている。渡り廊下の床の向きを変えることで【廊下】として際立たせる。



ファン
 吹き抜けの上部に設けたシーリングファン。これがあることで1階の床置きエアコンと2階吹き抜けに設けたエアコンだけで家中冷暖房を行き渡らせる。夏は吹き抜けのエアコンのみ、冬は1階の床置きエアコンのみ使用で省エネ。



新築

安芸高田市

石州瓦の家

【建築主】 ○様
 【設計者】 ㈲塩田工務店一級建築士事務所 塩田 崇 TEL 0826-45-3658
 【施工者】 しおた工務店 塩田 崇 TEL 0826-45-3658
 【企画立案者】 しおた工務店 塩田 崇 TEL 0826-45-3658



全景

周囲を川や田畑に囲まれた自然豊かな環境に建つ〇様邸。瓦屋根でも太陽光パネルの設置が可能。銀黒色の石州瓦の棟の直線と波打つような瓦の曲線が美しい。太陽光発電などのエネルギー創出量と使用するエネルギーの消費量が概ねゼロになるゼロエネ住宅に認定された。



玄関

軒の深い玄関でアクセントになっているのは杉の格子。深い軒をつけ住む人を日差しや雨、雪から守る玄関アプローチ。暑さや寒さ、積雪や塩害など厳しい日本海側の気候に晒されても100年以上耐えうる力を持つ石州瓦。住まいの木材との相性も良くよく馴染んでいる。

設計・施工者の創意工夫点

構造材に地域材（広島県産材）を利用、また太陽光搭載のゼロエネルギーハウスとして平成 27 年地域型住宅グリーン化事業に採択された〇様邸。その地域で作られたものが、その地域の住まいに一番ふさわしく美しい。周辺の山の緑ともマッチした和風の佇まいとなった。

事例の特徴

- 平成 27 年度地域型住宅グリーン化事業（ゼロエネルギー住宅）
- 広島県産材檜を、柱・土台に使用。また地域材の活用として、広島県産材檜のフロアを一部使用。



リビングダイニング

ナチュラルカラーで明るい雰囲気を出した心地良い空間。ダイニングテーブル、ソファ、テレビボードまで提携の家具メーカーとのコラボで統一感のあるリビングダイニングを実現させた。



和室

檜づくりの和室。障子から射す明るい日差しが心地良い空間となった。



玄関～廊下

木材の表面にかすかな凹凸を付けた浮造りの廊下は、玄関の陽を受けて出来た影が美しい。

新築

広島市

陽だまりLabo西原

【建築主】 D様
 【設計者】 暮らし工房 楽 清原 博幸 TEL 090-2867-1088
 【施工者】 株式会社大喜 TEL 082-875-3300



全景
 シンプルなデザインで、外壁を人にやさしい100%自然素材、そして地球環境に優しい環境機能を持った【スーパー白洲そとん壁】を採用。5kwの太陽光発電によりZEH住宅を実現。落葉樹を植えることで冬の日差しを入れ、夏は緑のカーテンで日陰を作ります。



ビオトープ
 ウッドデッキの横には街中には少ない池を配置、地域の虫達や植物が集まり自生します。

リビンググリーン化と蓄熱層

太陽の光を利用して蓄熱層を作り、夜に暖気を確保。サーモタイルを使い冬も冷たくなりません。リビングのグリーン化も自由にできる。



設計・施工者の創意工夫点

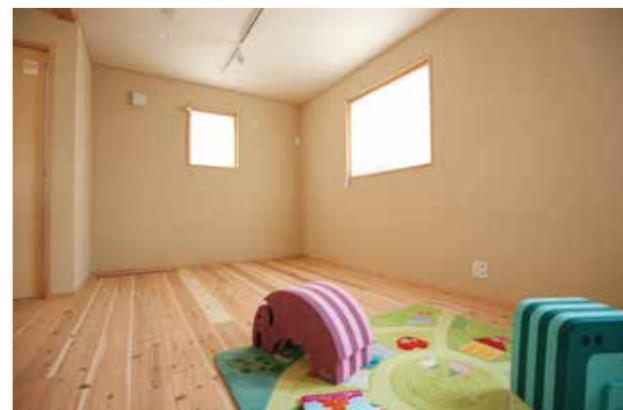
良質なデザイン、高性能な住まい、長寿命な家を！
 丈夫だけでは実現致しません。世代交代と共に住まい方は激変します。将来の変更が容易なつくりです。
 それぞれの敷地環境に合わせて、室内と戸外をつなぐ外構計画をデザインしました。
 こだわりの自然素材と自然エネルギーをシュミレーション。四季を通じて『きれいな空気と快適室温で暮らせる家』です。

事例の特徴

- 省エネ等級 HEAT20 で G2 をクリア 認定低炭素住宅・ZEH住宅
- 「地域産材使用部位」主要構造材 100%



LDK：陽だまりLaboは太陽光をコントロールします
 夏：夏の日差しを遮り、自然室温で快適に暮らせる環境を整えます。格子や緑のカーテン等で横からの日差しを遮ります。タープ等を張り日差しを遮り戸外で楽しむことが可能です。
 冬：南面の大きな開口部からは、吹抜けを通じて建物の奥まで日差しが入り込みます。



スケルトンインフィル
 建物の構造体と間取りや設備を分離し将来の暮らしの変化に対応できる可変性能！



パッシブ換気
 機械に頼らず、自然な空気の流れだけで家中を換気する方法です。暖かい空気が上に昇る性質を利用したこの換気システムは、省エネで安全なエコロジー住宅を実現します。

新築

福山市

まき日の家

【建築主】 非公表

【設計者】 kitokito 大町 知己 TEL 084-961-3302

【施工者】 kitokito 大町 知己 TEL 084-961-3302



薪ストーブと土間と庭

階段側からLDを見る。開放感のある木枠の大窓から光を取り入れ、ダイニングから薪ストーブ土間、ガラスを挟んでポーチ土間、そして庭へと外と中を緩やかにつなげる。



玄関～和室

ウッドデッキから玄関土間、その向こうにある半離れの和室を見る。

リビングから続くウッドデッキでは、子どもたちが内と外を自由に遊びまわる。



LDK

リビングから1階を見渡す。リビングの上の吹抜けは2階のスタディールームへとつながっている。ダイニングには階段があり、その軸をスチールにすることで部屋がすっきりとした印象になる。

設計・施工者の創意工夫点

建築を通し、旗竿上の暗い土地から、明るく穏やかに暮らしてゆける場所へと生まれ変わらせる。外と中をつなぐ土間、陽の光をいっぱい浴びる木枠の大窓、優しく包み込まれるような庭木がこの家を形づくる。外から内へ、内から外へ、人と自然を緩やかにつなぎ、家族が寄り添う空間がここにはある。光と影が移りゆく、ゆったりとした時間が流れる家を設計した。

事例の特徴

- 性能：トップランナー基準あり
- 特徴：敷地は旗竿上で家々に囲まれているため、暗さや圧迫感を感じる。それを払拭するため、南側に木枠の大窓とその上に深い軒を設け、夏は強い日差しを遮り、冬は暖かな日差しを室内に取り込む計画とした。さらに、土間スペースを作ることで中と外が、吹き抜けを作ることで1階と2階がゆるやかにつながるようにした。



庭と建築の共有①

前面道路からアプローチを歩いて行くとタモの木が出迎えてくれる。



庭と建築の共有②

アプローチから家の正面を見る。ウッドデッキでは、庭木の木陰の下、子ども達がトランプをして遊んでいる。



玄関土間と天然石

離れの和室に入るための玄関土間。そこにある天然石の飛び石は、設計者自ら山に登り、庭師と一緒に選んだものだ。



スタディールーム

吹抜けがあることで、2階にいながらも1階にいる家族の存在を感じられるようになっている。



1・2階のつながり

子ども部屋からは、庭、リビング、土間を眺めることができる。

新築

広島市

トンネルの家

【建築主】 非公表
 【設計者】 KALEIDO DESIGN 櫻井 朗 TEL 082-224-5805
 【施工者】 株式会社大和興産 水田 優樹 TEL 082-814-1111



通り庭
 南北の道路を繋ぎ合わせる通り庭。アプローチや縁側・遊び場といった様々な役割を担った場所となっている。



外観
 道路面の窓は最小限とし、通り庭側に開くことによって、採光を確保しつつプライバシーが守られている。



通り庭
 1階へ光を落とすグレーチング床。水平・垂直面の視線の抜けをつくり密集地の狭苦しさを無くしている。



設計・施工者の創意工夫点

敷地は建物が乱雑に建ち並び密集地に位置し、南北二面の道路に接している。この密集地の中でプライバシーを守りながら明るく開放的に暮らせるよう、南北二面の道路を繋ぎ合わせ、町家のような通り庭をつくり、密集した環境に空いたスペースを生み出した。この通り庭が、住まいのアプローチとなり、光を導く縁側となり、風の通り道となり、子供達の遊ぶ中庭となり、様々な役割を担う場所として外と内の境界を緩やかに繋げ、窮屈な環境にゆとりをもたらす場所となっている。

事例の特徴

- 土台（桧）・柱（杉）に国産材を使用
- 密集地の中でも設計の工夫で採光・通風を確保



リビング
 通り庭側からの採光により、窓を開放しても外部からの視線は入ることなく、開放的に過ごすことができる。



ホール
 通り庭に面して配置した片廊下式のホール。通り庭から光や風を受け取る縁側のような存在。



バルコニー
 通り庭上部のバルコニー。光や風を通すため床はグレーチングを利用し、手摺で道路からの視線を遮っている。



LDK
 2階は水周りも含め一繋がりとなるシンプルな間取りとし、全てのスペースで光を共有できるようにした。

畳コーナー
 LDKに面した畳コーナー。屋は子供達の勉強机となり、キッチンにいる母親からも見渡せる環境とした。



新築

尾道市

向島シーサイドタウンの白い家

【建築主】 H様
【設計者】 株式会社加度商 加度 亮平 TEL 0848-22-2693
【施工者】 株式会社加度商 加度 亮平 TEL 0848-22-2693



バルコニー
ワイドな開放感をもたらすバルコニー。軒を木張りにすることで、立体感が生まれ、アクセントに。



全景
青空に映えるスタイリッシュなフォルム。手塗りによる塗り壁仕上げがそこはかない柔和さを漂わせる。



全景
白の塗り壁は黄昏時に素材感を増し、淡い光を受ける佇まいも美しい。

設計・施工者の創意工夫点

コテ跡の残る漆喰の塗り壁と、質感豊かな無垢材との調和は、流れる時間をスローで豊かなものに変えてくれる。シンプルで素性のいい空間は、アレンジによって様々な表情を見せてくれる。無垢材を主役にしたナチュラルテイストから、白をベースにリネン素材や雑貨をコーディネートしたフレンチテイスト、ヴィヴィッドなテキスタイルを用いた北欧モダンな空間まで、住む人の個性を十二分に表現できる。

事例の特徴

- 長期優良住宅
- 省令準耐火構造



LDK
白を基調としたシンプルな空間がロケーションの良さを際立たせる。



LDK
コテ跡の塗り壁や無垢材など豊かな質感をもつ素材が独特の空気感を生み出す。



LDK
建築と一体化した造作棚。使い勝手も良く、ハンドメイドの温もりが感じられる。



LDK
断熱性能の高いセルローズファイバーを使用しているため、明るく開放的な抜け抜けリビングが可能に。

新築

安芸郡海田町

杜のアレイ (横丁ー小路)

～ヤマモミジの家～ ～ヤマボウシの家～

【建築主】 K様・F様
 【設計者】 株式会社現代計画研究所 岡本祐紀・井上拓哉 TEL 03-3994-8601
 【施工者】 株式会社竹野内建設 竹野内政信・森本志織 TEL 082-822-7711
 【企画立案者】 株式会社現代計画研究所 今井信博 TEL 03-3994-8601



西国街道に近接した歴史ある街に新しい表情をつくる
 三敷地の舗装・植栽を統一した広場のようなアプローチ空間と、軒の深い瓦屋根の連なる雁行した配置計画により、街に新しい表情を生み出します。



街に小さな風景を織り込む
 古き良き海田の街に織り込む、小さなまちづくりの第一歩です。



互いの庭を借景し合うヤマモミジの家(右)とハナミズキの家(左)
 建物二階のボリュームをコンパクトに抑え、明るくのびのびとした室内空間が得られるづくりです。

設計・施工者の創意工夫点

「杜のアレイ」は三軒を一体的に計画することで、単独では難しい、豊かな緑と広がりを感じられる住まい・街並みをつくる取り組みです。
 西国街道に近接した歴史ある街にふさわしいまちづくりと、地域の材料や職人技術を積極的に活かした、ふるさとの森を身近に感じられる住まいを目指しました。
 この街の成長を住まい手の方々と一緒に見守りながら、近隣の方々にとっても大切な風景に育ってくれることを願います。

事例の特徴

- 県産・地域材使用量/木材使用量
 ヤマモミジの家：24.2㎡/24.5㎡
 ヤマボウシの家：25.8㎡/26.1㎡
- 主な使用部位：構造材、羽柄材、造作材、床・天井、外壁の一部
- 住宅性能：長期優良住宅認定取得



三棟に連なる石積みとラカンマキの生垣
 石積みを街の記憶として保存活用。熊野神社につながる緑の小路を演出します。



リビング/ヤマモミジの家
 全て引き込める間仕切りや広いデッキテラスで、室内外が一体につながります。



地域の材と技術でつくり、守り育てる住まい
 地域の木材産業と大工、工務店が連携することで実現する、広島森を身近に感じ、ふるさとへの愛着の深まる家づくりです。



完成見学会・勉強会の様子
 住まいづくりに関わる多様な職人技術を披露し、身近な住まいづくりがまちづくりや森づくりにつながる可能性を紹介しました。



キッチン/ヤマボウシの家
 将来的に料理教室を開催したいというせ施主さまの希望に応えたアイランドキッチンは、この家のコックピットです。



2階子ども室/ヤマモミジの家
 階段室との間仕切りは、光を通し気配を感じるポリカ壁。



2階主寝室からの眺め/ヤマボウシの家
 小路の緑と石州瓦の屋根並みが、山並みにつながります。

広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

●構成団体

(公社)広島県建築士会、(一社)広島県建築士事務所協会、(一社)広島県建築センター協会、(一社)広島県工務店協会、
(一社)広島県木材組合連合会、(一社)広島県住宅産業協会、(一社)全国住宅産業協会中国支部、
(一社)日本ツーバイフォー建築協会広島県支部、(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部、
広島県森林組合連合会、広島県家具工業連合会、(株)スガノ、(株)小野産業

●オブザーバー参加

広島県土木建築局住宅課、広島県農林水産局林業課

●協議会事務局

(公社)広島県建築士会 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F Tel:082-244-6830

E-mail : info@k-hiroshima.or.jp ホームページ <http://www.k-hiroshima.or.jp/>